



2021年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年7月14日

上場会社名 ティアンドエス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4055 URL <https://www.tecsvc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 武川 義浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員業務本部長 (氏名) 木下 洋 TEL 045-263-8286
 四半期報告書提出予定日 2021年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期第2四半期の業績（2020年12月1日～2021年5月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第2四半期	1,286	15.9	172	4.6	177	6.1	124	10.6
2020年11月期第2四半期	1,110	—	164	—	167	—	112	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第2四半期	34.12	32.24
2020年11月期第2四半期	35.71	—

- (注) 1. 2020年11月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社は2020年11月期第2四半期は非上場であり、期中平均株価が算出できませんので記載しておりません。
 2. 2020年4月14日付で普通株式1株につき1,100株の割合で株式分割を行い、2020年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年11月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第2四半期	1,677	1,323	78.9
2020年11月期	1,502	1,212	80.7

(参考) 自己資本 2021年11月期第2四半期 1,323百万円 2020年11月期 1,212百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	0.00	—	13.50	13.50
2021年11月期	—	0.00	—	—	—
2021年11月期（予想）	—	—	—	6.75	6.75

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 2020年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年11月期の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2021年11月期の業績予想（2020年12月1日～2021年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,464	8.7	322	5.7	328	7.9	229	△2.9	61.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期2Q	3,799,000株	2020年11月期	3,585,600株
② 期末自己株式数	2021年11月期2Q	一株	2020年11月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年11月期2Q	3,660,013株	2020年11月期2Q	3,161,400株

(注) 2020年4月14日付で普通株式1株につき1,100株の割合で株式分割を行い、2020年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年11月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第2四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令により社会経済活動が再び制限され、経済正常化に向けた動きが途切れる形となりました。企業活動においては在宅勤務やオンラインミーティングの活用等が定着・拡大し、更には急速に進むDX（デジタルトランスフォーメーション）化の流れもあり、ITの重要性や業務のIT化の流れは引き続き拡大しております。各種政策の効果や海外経済の改善もあり、経済の持ち直しの動きは続いているものの、一部で弱さが増している状況であり、経済の下振れリスクや雇用環境への影響には引き続き注意する必要があります。

当社の事業は、システム開発及びその関連サービスの単一セグメントですが、事業の構成をソリューション、半導体、先進技術ソリューションの3カテゴリ構成とし事業展開しております。上記のような経済環境のなか「ソリューションカテゴリ」では産業領域に特化せずIT人材の供給を継続し、IT開発を支える事業の拡大を図ってまいりました。「半導体カテゴリ」では工場内システムの保守及び運用サービスや、ITヘルプデスク等半導体工場のITインフラストラクチャー運用支援全般の事業の拡大を図ってまいりました。「先進技術ソリューションカテゴリ」ではAI関連製品を開発中のお客様向けのソリューション提供の拡大を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高1,286,741千円（前年同四半期比15.9%増）となりました。好調な業績に鑑み従業員に対する業績連動賞与25,000千円を引当計上したものの、営業利益172,192千円（前年同四半期比4.6%増）、経常利益177,985千円（前年同四半期比6.1%増）、四半期純利益124,877千円（前年同四半期比10.6%増）とすべての段階利益において前年同四半期比増収増益となりました。また、エンジニアの採用も順調に進み、当第2四半期累計期間の新規採用（新卒・中途）は39名まで進捗いたしました。

当第2四半期累計期間におけるカテゴリ毎の経営成績は次のとおりであります。

①ソリューションカテゴリ

当第2四半期累計期間の売上高は、986,950千円（前年同四半期比10.6%増）となりました。

工場・プラント関連の管理システム開発の継続受注や主要得意先からの受託開発案件の受注が増加し、前年同四半期に比べ10%を超える伸びで推移しました。

②半導体カテゴリ

当第2四半期累計期間の売上高は、226,790千円（前年同四半期比34.0%増）となりました。

半導体需要の拡大を背景に主要得意先の設備増強が進み、半導体工場における保守・運用サービスに係わる派遣エンジニア数が大きく増加しました。

③先進技術ソリューションカテゴリ

当第2四半期累計期間の売上高は、72,999千円（前年同四半期比48.5%増）となりました。

AIアルゴリズム研究開発支援サービスや技術論文調査支援などを中心に、既存得意先からの継続受注が順調に推移したことに加え、新規取引先からの受注が売上に寄与しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は1,572,352千円となり、前事業年度末に比べ164,855千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が四半期純利益の計上等により105,357千円、売上高の伸長に伴い売掛金が48,496千円増加したことによるものであります。固定資産は104,847千円となり、前事業年度末に比べ9,421千円増加いたしました。これは主に賞与引当金の増加に伴い繰延税金資産が9,407千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,677,199千円となり、前事業年度末に比べ174,276千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は303,133千円となり、前事業年度末に比べ59,528千円増加いたしました。これは主に賞与引当金が61,609千円、未払法人税等が31,780千円、買掛金が17,490千円増加し、冬季賞与の支給に伴い未払費用が32,554千円、未払消費税等が20,300千円減少したことによるものであります。固定負債は50,119千円となり、前事業年度末に比べ3,153千円増加いたしました。これは退職給付引当金が3,153千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は353,252千円となり、前事業年度末に比べ62,681千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は1,323,946千円となり、前事業年度末に比べ111,595千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が四半期純利益の計上により124,877千円増加し、配当により24,202千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2021年1月14日の「2020年11月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年11月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,016,928	1,122,286
売掛金	250,442	298,939
仕掛品	6,147	14,086
未収入金	121,206	129,685
その他	13,672	8,454
貸倒引当金	△900	△1,100
流動資産合計	1,407,497	1,572,352
固定資産		
有形固定資産	23,542	22,927
無形固定資産	1,178	2,010
投資その他の資産	70,704	79,908
固定資産合計	95,425	104,847
資産合計	1,502,923	1,677,199
負債の部		
流動負債		
買掛金	64,473	81,963
未払法人税等	42,326	74,106
賞与引当金	5,822	67,432
その他	130,981	79,630
流動負債合計	243,604	303,133
固定負債		
退職給付引当金	38,895	42,048
その他	8,071	8,071
固定負債合計	46,966	50,119
負債合計	290,571	353,252
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,600	340,060
資本剰余金	285,929	291,390
利益剰余金	591,821	692,496
株主資本合計	1,212,351	1,323,946
純資産合計	1,212,351	1,323,946
負債純資産合計	1,502,923	1,677,199

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
売上高	1,110,500	1,286,741
売上原価	773,159	916,680
売上総利益	337,340	370,060
販売費及び一般管理費	172,647	197,868
営業利益	164,693	172,192
営業外収益		
受取利息	0	3
助成金収入	—	330
補助金収入	3,000	5,550
その他	0	0
営業外収益合計	3,000	5,883
営業外費用		
株式交付費	—	90
その他	—	0
営業外費用合計	—	90
経常利益	167,694	177,985
税引前四半期純利益	167,694	177,985
法人税、住民税及び事業税	38,484	62,515
法人税等調整額	16,318	△9,407
法人税等合計	54,803	53,107
四半期純利益	112,890	124,877

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自 2019年12月1日 至 2020年5月31日）

当社の事業は、システム開発及びその関連サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間（自 2020年12月1日 至 2021年5月31日）

当社の事業は、システム開発及びその関連サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。